

SUNRISE

<SUNRISE = 太陽が昇る「日の出」と、三中(SUN)の雰囲気がいよいよ上がって(RISE)いくようにとの思いを込めて…>

堺市立三国丘中学校 生徒指導通信 生徒指導部発行 No. 9 2023. 5. 24

熱中症対策として ～体操服登校を許可します～

日中は30度近くまで気温が上がる日が増えてきました。今年度から学生服登校に戻りましたが、熱中症対策の一環として体操服登校を許可します。下記の通り進めたいと思いますので、しっかり読んでください。

◇体操服登校を認めます

体操服での登校を許可します。(もちろん学生服でも構いません)ただし、だらしなく着崩すことの無いようにしてください。また体育の授業のある日は衛生面を考え、必ず更衣(体操服 or 標準服)をするようにしてください。

期間は6月5日(月)～9月29日(金)【体育大会まで】とします。

◇帽子の着用について

今年度にはいって周知できておらず申し訳ありませんでした。体育の時間の帽子の着用については認めています。登下校についても帽子(体育の授業で使えるもの)の着用を認めています。熱中症対策なので、屋内での帽子の着用は認めません。

「慎み」の価値観

古池や 蛙飛び込む 水の音

あらゆる俳句の中で、最も日本人に知れ渡っているものでしょう。これほどまでに有名になった要素について、多くの学者がさまざまな説を唱えています。最も共感できるのは、この句が表現するものが「静寂」である、というものです。芭蕉がこれを詠むまでの日本の和歌や連歌の歴史において、蛙といえどもつばら鳴き声を取り上げられていました。そこから脱却して「飛び込む音」を指摘した発想がまず凄まじいものでした。そして、飛び込む前と飛び込んだ後の「音」を同時に想像させることで、時間と空間を含めた静寂が無限に際立ったのです。あたかも日本庭園の鹿^{ししおど}威しによって、静寂そのものを楽しみに変換してしまうように。ここに静寂を貴ぶという日本文化に共通の価値観が確認できます。閉鎖空間における音の慎みは、日本の文化を貴ぶ態度そのものでもあるのです。

「時・場所・場合」が組み合わさった公共の「場」においては、他者の時間を奪わない慎み、空間を占有しない慎み、場にあった音の慎みが求められます。明日からは3年生の修学旅行、金曜日には1年生の校外学習があり、「公の場」に出ていくこととなりますが、他人に迷惑をかけない「慎み」を持って行動するよう心掛けてほしいものです。

8時25分登校です。。。。

登校の様子を見ていると、毎朝、同じ人が8時25分前を走っています。毎朝です。いつまで続けますか?改善する気はないですか?多分、「間に合ってるやん」と思っているからだと思います。でも一歩間違えたら遅刻です。走っている人の中には、たまに間に合わない人がいます。最近その数が多いので心配しています。1学期も後半に突入です。気を引き締めて過ごしてください!!

8:25登校キャンペーンにご協力を!!朝の余裕が一日の落ち着きに